# 平成30年度　自己評価結果に対する学校関係者評価

| 学校名 | 北海道月形高等学校 | 外部評価委員会<br>（学校評議員会） |
|---|---|---|

1 学校教育目標（めざす生徒像）

| | |
|---|---|
| 1 創造性に富み情操豊かな人間を育てる<br>2 広い視野をもち主体的に行動できる人間を育てる<br>3 健康で実践力のあるたくましい人間を育てる | 重点目標（めざす学校像）<br>1 生徒一人一人の生きる力の育成と進路実現ができる学校<br>2 教職員が協働意識と経営参画意識をもてる学校<br>3 教職員が積極的に研修と授業改善に取り組む学校<br>4 保護者や地域の信頼と期待に応える学校 |

2 本年度の経営方針

生徒・保護者や地域から「選ばれ、満足され、信頼される学校づくり」の推進

【生徒理解を深め、生徒一人一人を大切に育て、安心して活躍できる学校を目指す】

⑴ 卒業後の長い人生を見通せるキャリア教育の構築を目指し、主体的に考えるための資質能力、社会でたくましく生きる力と健康な身体をもつ生徒の育成に努める
⑵ 生徒一人一人の個性の伸長を目指し、豊かな心の育成に努める
⑶ 学校の教育力の充実を目指し、教職員の協働意識の向上と経営参画意識の醸成による勤務の効率化に努める
⑷ 教職員一人一人の資質能力の向上のための積極的な研修とカリキュラムマネジメントにより「主体的・対話的な深い学び」を実現する不断の授業改善及び評価の工夫に努める

3 自己評価結果に対する外部評価（A：十分　B：おおむね十分　C：やや不十分　D：不十分）

評価平均・・・A：4、B：3、C：2、D：1として平均値を算出

評　　価・・・評価平均について、A：3.25以上、B：2.50～3.24、C：1.75～2.49、D：1.74以下（小数第3位四捨五入）

| 分野・領域 | 評価項目 | 評価 | 改善の方策 | 自己評価の適切さ | 改善に向けた取組の適切さ |
|---|---|---|---|---|---|
| 学習指導 | ①教育課程は、生徒の実態に対応して編成されているか。 | A | ・朝読書を効果的な取組みにするため、年度当初に、全教職員と全校生徒にその意義と取組み方について周知を図り、引き続き、全体での取組みを行う。<br>・新学習指導要領導入に向けて、教育課程の編成は生徒の実態や当面する課題への対応、地域の期待等を考慮して次年度も年度当初より積極的に見直しを行い、適切に進める。<br>・生徒への学習指導は日々の授業に参加することを基本とし、家庭学習は生徒の実態や進路目標に応じたものとする。学習習慣定着に向け、より一層の効果を高める個に応じた課題内容等充実に努める。<br>・教員数減少により限界はあるが、個に応じた指導を充実させ、基礎学力の向上を図る。<br>・引続き特別支援教育について、理解や研修を深め各学年・教科指導等組織的に対応出来る体制作りに努める。<br>・「総合的な探究の時間」導入に向け内容精選や取組みの深化等を検討し充実させる。 | A | A |
| | ②年間学習指導は計画と実施のズレがチェックされ | A | | | |
| | ③学習指導の改善のためシラバスの見直しが適切におこなわれているか。 | A | | | |
| | ④生徒の実態を考慮し、基礎・基本が確実に身につくよう適切な指導を行っているか。 | A | | | |
| | ⑤わかりやすい授業となるよう、授業内容が工夫されているか。 | A | | | |
| | ⑥授業規律の確立が図られているか。 | A | | | |
| | ⑦個々の生徒の学習状態を把握して、適切に評価しているか。 | A | | | |
| | ⑧総合的な学習の時間は、三年間を見通した内容になっているか。 | B | | | |
| | ⑨朝読書や家庭学習の充実により基礎学力の向上が図られているか。 | B | | | |
| 生徒指導 | ①生徒指導体制が全教職員の共通理解の下で推進 | A | ・人事異動に伴い年度当初に指導体制、指導計画の明確化を図り共働体制の確立に努めた。指導状況等について分掌・学年の連携を密にし、情報共有を図り、指導の充実に努める。<br>・生徒理解研修会を計画的に実施し、生徒個々の状況等について共有化を図り、生徒の特性等に応じた指導の充実に努める。教育相談・特別支援の研修の充実に努め、実態や状況に応じた適切な指導を実施する。<br>・生徒会執行部のリーダーシップ育成のために、教育局や町教育委員会主催のリーダー研修会に積極的に参加させる。<br>・教育相談体制について、生徒が相談しやすいよう、各学年に担当を置き組織的に対応する。また、新入生については今年度効果的であったスクールカウンセラーによる全員面談を年度当初に実施する<br>・学年・サポート委員会やSSW等外部組織と連携し、様々な事情をかかえた生徒への効果的な指導を行う。<br>・行事等の効果的な自主的活動について実施時期や内容等検討を深め充実に努める。 | A | A |
| | ②地域の関係機関と連携できているか。 | A | | | |
| | ③教育相談や個人面接の機会を積極的に設けているか。 | A | | | |
| | ④基本的生活習慣や集団生活の決まりが身につくよう、きめ細かな指導ができているか。 | A | | | |
| | ⑤いじめや非行、問題行動の早期発見と、その予防対策が日常生活の中で行われているか。 | A | | | |
| | ⑥学校行事は、生徒が自発的に活動できるよう工夫されているか。 | B | | | |
| | ⑦ホームルーム指導計画は、教科指導や他の特別活動との関連を考慮した指導計画であるか。 | B | | | |
| | ⑧部活動に対し、生徒が主体的に参加できるよう指導されているか。 | A | | | |
| | ⑨生徒会活動が、生徒の自主的活動となるよう、全教職員の協力体制ができているか。 | B | | | |

| 分野・領域 | 評価項目 | 評価 | 改善の方策 | 自己評価の適切さ | 改善に向けた取組の適切さ |
|---|---|---|---|---|---|
| 進路指導 | ①進路指導計画の内容が、生徒の実態に対応できているか。 | A | ・各学年で取組んだ指導内容や進路指導資料をサーバー内のフォルダにまとめる等、適切な資料管理を行う。また、「進路のしおり」の内容を精査し有効活用する。<br>・進路指導部通信を定期発行し、進路情報提供を充実させ、個々の進路実現に向けきめ細かな対応を行う。<br>・本校のキャリア教育の充実に向け進路指導部全体計画にそって進路指導部として、生徒の希望に応じた3年間の見通しが持てる具体的な取組みや方法について充実させる。<br>・進学指導の充実に向け、計画的に講習を行うことができた。講習等の一層の効率化や効果的な実施について検討する。 | A | A |
| | ②進路指導計画が、ホームルームの指導の中で具現化されているか。 | A | | | |
| | ③生徒や保護者との話し合いを密にし、進路決定のための相談活動が適切に行われているか。 | A | | | |
| | ④講習や模擬試験の指導など希望実現への援助活動はなされているか。 | A | | | |
| | ⑤望ましい勤労観や職業観を育て、自己理解を促す指導は適切に行われているか。 | A | | | |
| | ⑥外部機関とのネットワークを広げ、相互の情報の共有が適切に行われているか。 | A | | | |
| 健康安全指導 | ①交通安全をはじめ、安全意識を高める指導は行われているか。 | A | ・避難訓練は、火災に係る訓練1回、地震に係る訓練1回の2回実施した。<br>・昨年度に引き続き福祉講話を実施し福祉についての理解を深め、互助意識の高揚に努めた。<br>・地域連携の一環として月形刑務所との連携事業を行った。地域理解と共に防犯・安全意識の高揚を図った。<br>・実態に即した防火防災計画となるよう防火防災計画の見直しを図り改善に努めた。さらに校内研修等実施を通して周知を図り、危機管理体制を充実させる。<br>・養護教諭が中心となり生徒全員が取り組んだ健康目標は、生徒の健康意識の高揚に大変有効であった。また、教員、生徒とも減少する中で清掃区域の効率的な分担を模索した。 | A | A |
| | ②安全確保のための環境整備や点検は行われてい | A | | | |
| | ③防災関係の規程や非常事態発生時の対処要領が、職員や生徒に周知されているか。 | A | | | |
| | ④危機に対する管理体制が充分なされているか。 | A | | | |
| | ⑤健康安全に対する計画的・継続的な指導はなされているか。 | A | | | |
| | ⑥校舎内外の清掃・美化活動は計画的に行われているか。 | A | | | |
| | ⑦生徒の環境美化に対する意識を高める指導は行われているか。 | B | | | |
| 組織運営 | ①教育活動全般において、教育目標の具現化が図られているか。 | A | ・職員室内のコミュニケーションを活発に行い情報の共有化を図ると共に協働意識の醸成に努めた。<br>・業務の見直しや改善についての意見交換を積極的に行い協働体制の確立に努める。<br>・保護者アンケートと教職員の自己評価の評価結果を検証し、組織運営の充実に努める。<br>・1間口完成による教職員の減少に伴い、全教職員が学校内で起こる事象に対し当事者意識を持ち、協働体制のもと、機動的な学校運営を図ることが必要である。<br>・働き方改革実現に向け、業務の効率化・平準化を行い勤務時間縮減に向けた取組を活発化させる。 | A | A |
| | ②生徒や保護者に対して、教育目標等の周知を図っているか。 | A | | | |
| | ③組織の協力体制が整い、機動的に学校運営がなされているか。 | A | | | |
| | ④教職員が学校運営に対して、積極的に参画できているか。 | A | | | |
| | ⑤教職員相互理解に努め、望ましい人間関係が醸成されるような職場のムードづくりができているか。 | A | | | |
| | ⑥教職員の健康管理や福利厚生に対して、配慮されているか。 | A | | | |
| | ⑦職員会議や打合せ等が適切に行われ、会議の機能が活かされているか。 | A | | | |
| | ⑧法令遵守と服務規律が守られ、説明責任がなされているか。 | A | | | |
| 研修 | ①校内研修会の時期、実施内容は適切であるか。 | A | ・校内研修会を年間計画に位置づけ、効果的に実施した。生徒理解や授業改善等に向け、学校内研修をさらに充実させる。<br>・校外研修に積極的に参加する教員を増やし、研修成果は、研修報告や資料回覧等を通して成果の共有化を図る。 | A | A |
| | ②各種研修・研究会へは積極的に参加し、生徒に還元されているか。 | A | | | |
| | ③分掌や教科部会内の研修は工夫されているか。 | A | | | |
| 保護者、地域住民等との連携 | ①家庭訪問の実施等、家庭・保護者との連携協力はできているか。 | A | ・保護者と連絡が取れず苦慮することがあった。今後も粘り強く保護者に連携協力を依頼する。<br>・町内小中学校の授業参観へは昨年より多くの教員が参加できた。さらに積極的連携をしていく体制構築に努める。<br>・より一層地域との連携を深め、ボランティア活動や諸行事に積極的な参加を促す。 | A | A |
| | ②PTA行事の充実や研修会等、PTA活動は活発であるか。 | A | | | |
| | ③中学校や地域の関係機関との連絡・連携はなされているか。 | A | | | |
| | ④授業公開日の実施時期や公開内容は工夫されているか。 | A | | | |
| | ⑤地域へのボランティア活動等の参加はなされたか。 | B | | | |
| 施設・設備 | ①施設・設備の維持管理、教育活動に適した整備及び補充がなされているか。 | B | ・予算は限られるが、今後とも教育環境の整備に努める。 | A | A |